



南会津 のうりんニュース

第165号(平成25年4月)

今号の写真:高野の種まき桜(南会津町高野地区)

南会津の厳しい冬もようやく終わりを告げて、暖かな春の日差しが木々の新芽の成長を見守っています。ふと立ち止まって、野山を眺めてみるのはいかがでしょうか。

今号の内容

- 着任のご挨拶
- 人事異動のお知らせ
- 今号のトピックス
 - ・木伏地区営農改善組合が県知事賞を受賞しました
 - ・JA会津みなみ花卉連絡協議会が全国奨励賞を受賞しました
 - ・平成23年7月新潟・福島豪雨災害の災害復旧状況について
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・山火事に注意してください
 - ・南会津地方防霜対策本部を設置しました
 - ・「ワークステイ」を受け入れてみませんか
 - ・農産物等におけるモニタリング検査について

平成25年4月30日発行 福島県南会津農林事務所



着任のご挨拶



例年に無い豪雪にみまわれた南会津地方にも、待ちに待った春が訪れ、農作業が忙しくなる時期、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このほどの県の人事異動により、福島県南会津農林事務所に参りました稲本と申します。地元田島高校卒業後、昭和48年度に新規採用で田島林業事務所に勤務し、南会津は四度目の勤務となります。

東日本大震災から二年が経過し、「ふくしまから はじめよう。」を合言葉に、県民が一丸となって復興に取り組んでおります。このような中、南会津地方の農林業の復興・振興の仕事をさせていただけること大変ありがたいことと存じます。微力ですが誠心誠意、努めて参りたいと思いますので、皆様の御支援、御協力を、前所長同様、よろしくお願ひいたします。

さて、県では、東日本大震災及び原子力災害、そして新潟・福島豪雨などによる災害からの「復興と再生」を期するため、新たな総合計画「ふくしま新生プラン」を策定すると共に、農林水産分野においても、「ふくしま農林水産業新生プラン(福島県農林水産業振興計画)」を策定しました。

この計画に位置づけさせていただきました、当南会津地域の振興方向としては、「みんなが輝く園芸産地と交流の郷づくり」をテーマに

①東日本大震災及び原子力災害からの復興

②多様な担い手の育成・確保による園芸作物の振興

③森林・林業・木材産業の振興

④6次産業化、農林業と観光産業との連携推進

⑤豊かな農山村の維持・保全

の五つを重点項目として取り組むこととしています。

これらの計画を確実に実施していくことにより、福島県、南会津地方の早期の復旧復興と地域振興につながるものと考えています。

当面、新潟・福島豪雨などの災害復旧を早期に図るとともに、モニタリング検査や農産物の安全確認体制の充実と農産物の安全性のPR・技術指導などを行い、原子力災害の風評被害の払拭に努めます。

その上で、夏秋トマト、アスパラガスやリンドウなどの地域条件等に適した作物による園芸産地の振興と「南会津ブランド」の強化を図るとともに、豊かな森林環境を維持・整備し、地域資源を活かした交流人口の拡大、農林業と観光産業との連携による所得向上を目指します。また、過疎中山間地域での農林業の担い手の確保、農用地の基盤の整備に努めて参りたいと考えております。

終わりに、皆様の御健勝と御多幸をお祈りするとともに、南会津地方の農林業の更なる発展を心から期待して、挨拶といたします。

福島県南会津農林事務所長

いなもと たいちろう

稲本 太一郎

人事異動のお知らせ

4月の人事異動により26名が転出し、28名が新たに配属となりました。

転入者 (カッコ内は旧所属等です)	
	稲本太一郎 (森林保全課)
●総務部	五十嵐精二 (農業経済課)、佐々木純子 (土木総務課)、伊藤悠 (新規採用)
●企画部	遠藤孝悦 (農業総合センター畜産研究所)、紺野恭子 (会津農林事務所)、齋藤梓 (生活交通課) 引地正志 (新規採用)
●農業振興普及部 (南郷普及所)	飯田純也 (農産物流通課)、大久保圭二 (相双農林事務所)、菅野学 (市町村財政課) 新井美紀 (県中農林事務所)、鈴木詩帆里 (新規採用) 渡邊仁司 (農業総合センター浜地域研究所)
●農村整備部	高萩勇雄 (会津農林事務所)、大沼孝宏 (監査委員事務局)、円谷正人 (いわき農林事務所) 長谷川正栄 (会津若松建設事務所)、高野洋平 (新規採用)
●森林林業部	人見雅之 (県中農林事務所)、吉田好幸 (森林計画課)、田久保昌 (県中農林事務所) 高畑純 (会津農林事務所)、二野屏健治 (県南農林事務所)、押山友美 (新規採用) 山下陽平 (新規採用) 【他県より派遣】真野厚仁 (鹿児島県)、鈴木良 (愛知県)
転出者 (カッコ内は転出先です)	
	熊耳倉雄 (退職)
●総務部	目黒久一郎 (退職)、小柴康宏 (企画調整課)、藤井智生 (会津大学)
●企画部	柏倉一司 (いわき農林事務所)、小林孝弘 (会津総合病院)、平野晃史 (水産課) 青海将弘 (会津地方振興局)
●農業振興普及部 (南郷普及所)	目黒友 (県北農林事務所)、菊地守 (森林整備課)、小林祐一 (会津農林事務所喜多方普及所) 谷地洋紀 (大阪事務所)、横山健 (農業総合センター) 野田正浩 (農業総合センター福島市駐在)
●農村整備部	土崎真 (工事検査課)、菅家雄太郎 (会津農林事務所)、市川和善 (農村基盤整備課) 大堀一人 (県北農林事務所)、馬場又平 (退職)
●森林林業部	千葉佳信 (退職)、柳田範久 (いわき農林事務所)、矢澤倉一 (退職)、佐藤豊八 (退職) 安齋裕一 (退職)、小林正光 (会津農林事務所)、益子利江 (会津農林事務所)

今号のトピックス

木伏地区営農改善組合が 県知事賞を受賞しました

豊かなむらづくり顕彰事業は、集落等におけるむらづくりや農業生産活動において顕著な業績を収めている団体を表彰し、活動内容を広く紹介することにより、農林水産業・農山漁村の健全な発展に資することを目的として、県と福島民友新聞社の共催で行われています。

むらづくり部門と農業生産部門の2つの部門があり、木伏地区営農改善組合は、むらづくり部門で県知事賞と福島民友新聞社社長賞を受賞し、去る3月26日に福島市で関係者4名が出席し表彰を受けました。

南会津町の木伏地区では、平成17年度に始まったほ場整備事業を契機に、担い手への農用地利用集積、遊休農地解消のためのそばの作付け、集約した畑での野菜栽培、「よって～けやれ～南郷直売所」の開設・運営などの活動を行ってきましたが、その中心となった



受賞を機に更なる取り組みへ決意がみなぎります

のが木伏地区営農改善組合です。

現在では、これらの活動以外にも、他地域と連携した花壇整備などの環境美化活動、小学生の体験学習、山開きイベント開催など、地域活性化のために大きく貢献しています。今後も、活動のさらなる発展と活躍が期待されます。(農業振興普及部)

JA会津みなみ花卉連絡協議会が 全国奨励賞を受賞しました

環境保全型農業の確立を目指して意欲的に経営や技術の改善に取り組み、農村環境の保全活動をとおして地域社会の発展に貢献している農業者や団体等を表彰する第18回環境保全型農業推進コンクールが実施されました。

平成25年3月13日に仙台市で優良事例表彰状伝達式が行われ、JA会津みなみ花卉連絡協議会は奨励賞を受賞しました。



目標に向けて取り組みを進めます

JA会津みなみ花卉連絡協議会は、昭和60年代から自然環境に配慮し、土壌分析に基づく適正な施肥、化学合成農薬の節減による花き栽培を行うとともに、平成22年から24年にかけては、南会津地方の3大主要花き品目である「りんどう、宿根かすみそう、カラー」について、協議会の生産者80名全員がエコファーマー認定を受け、継続した環境保全型農業に産地全体で取り組んでいます。また、現在は、スターチスについてのエコファーマー認定を受けることを目標に活動しています。

今後も環境保全型農業を核にした産地の維持、発展を目指すとともに、「大自然と共に歩む花き産地・南会津」という産地ブランドの確立が期待されます。（農業振興普及部）

平成23年7月新潟・福島豪雨災害の災害復旧状況について

平成23年7月27日～30日にかけて、新潟県と福島県会津地方を中心に降り続いた雨は記録的な大雨となり、各地方に甚大な被害をもたらしました。

当所管内で発生した林地被害は、124箇所、被害額2,531,200千円におよび、中でも只見町では、86箇所、1,584,000千円と、全体被害箇所の約69%にも上っています。

これら林地被害箇所の復旧を図るため、平成23年度に災害関連緊急治山事業の採択（16箇所、567,322千円）を受け、現在までに14箇所が完成し、本年度に2箇所が完成する予定となっています。

しかしながら、当該事業実施地区の内、地区全体の復旧に至らない箇所もあることから、これら箇所については、緊急性及び採択基準等を精査の上、年次計画に基づき順次対応していくこととしています。

また、これ以外の未着手箇所についても、同様に対応していくこととしています。

なお、次号では農業用施設、耕地等災害の災害復旧状況についてお知らせします。

【宮ノ上山地区の災害復旧状況】



土石流にて人家が全壊した状況



土石流対策として設置した治山ダム

（農村整備部・森林林業部）

農林事務所からのお知らせ

山火事に注意してください

春は空気が乾燥し、山火事が発生しやすい時期となります。

当所管内では、4月1日から春の山火事予防運動が始まりました。

今年に入り、中通りと浜通りを合わせると、既に約30件の山火事が発生しています。特に、広野町で発生した山火事では、4haもの広大な森林を失うこととなりました。

山火事は貴重な森林を一瞬にして灰にするだけでなく、住民の生命や財産をも危険にさらすものです。



山火事防止パレード等を通して、注意喚起を行います

これからの季節、山菜採り等で山に入る機会が多くなります。火の取り扱いには、十分に注意してください。
(森林林業部)

南会津地方防霜対策本部を設置しました

当所では、平成25年3月28日から6月7日まで「南会津地方防霜対策本部」を設置し、関係機関と連携して防霜技術対策などについて情報提供を行います。



南会津地方防霜対策本部設置

次のような気象条件の際には凍霜害が発生しやすくなります。農作物の管理に十分注意してください。

- ①降雨後で肌寒い北寄りの風が吹く。
- ②夕方になり風が止む。
- ③夜になり晴れ上がり、曇がなく、底冷えがする。

空気が乾燥していると急激に気温が低下しやすいため、注意が必要です。

気象台の発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。
(農業振興普及部)

「ふるさとワークステイ」を受け入れてみませんか

当所では、平成24年度から、一般の方を対象として「南会津ふるさとワークステイ」を実施しています。



熱心に作業に取り組む参加者

これは、農山村の生活に関心のある方や、将来的に農山村への移住・二地域居住を考えている方を対象に、農林家の仕事を手伝ってもらい、南会津地方のありのままの

生活を体験してもらうという取り組みです。

平成24年度には7組11人の方々に当地方の生活を体験いただきました。

平成25年度には、当所管内全域で20人程度の受け入れを予定しています。

都市住民の方との交流に興味があり、農作業・集落の伝統行事などを手伝ってもらいたい方は、お気軽にお問い合わせください。

(企画部)

<問い合わせ>

南会津農林事務所企画部

電話：0241-62-5252

メール：kikaku.af05@pref.fukushima.lg.jp

農産物等におけるモニタリング検査について

当所管内の農産物に関連するモニタリング検査等として、平成24年度は計663（野菜318、果樹73、米42、米以外の穀類75、原乳104、肉類18、飼料・稲わら32、堆肥1）点を実施しました。

その結果、全てが食品あるいは飼料・肥料の基準値等を十分に下回ったため、現在、南会津管内では一部の野生品目を除き、出荷の自粛等が指示されている品目はありません。

このように、南会津郡産の農産物等は極めて安全ですので、安心して食べたり、ひとに勧めたりしていただきたいと思えます。

しかしながら、汚染された堆肥や資材を使用するなどして二次汚染が生じる可能性が残されているため、油断はできません。生産者、消費者の両者に「安全・安心」を届けるため、平成25年度も引き続き、モニタリング検査等を実施して参ります。

昨年度の検査でサンプルを御提供いただいた生産者の皆さま、検査に御協力いただいた関係者の皆さまには、改めてお礼を申し上げますとともに、本年度もモニタリング検査に御協力のほど、よろしくお願ひします。

(農業振興普及部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。